

な つ とくつうしん 那覇特通信

『聞いてなっとく 見てなっとく 知ってなっとく できてなっとく』

令和6年11月1日

県立那覇特別支援学校

校長 下地直子

11月



天高く 馬こゆる 秋 那覇特支に到来



台風でハラハラした10月も過ぎ、日差しも柔らかく、澄み渡る青空とうろこ雲が学校の上空にも広がり、秋を感じさせてくれます。校内では、ハロウィンの壁面飾りが秋の季節をさらに楽しめる雰囲気を作っています。今月は、那覇特祭、交流会、県内修学旅行の準備と学習が続きます。

「見てみよう！聞いてみよう！やってみよう！」で児童生徒の多い月にするために教職員一同頑張ります。

ご家族のみなさん、センター等の関係者のみなさん、今月も、児童生徒の健康管理とご支援よろしくお願いします。

～ 10月 学習の報告 ～

【 高等部 県外修学旅行 】 10月6日(日)～8日(火) 東京へ



目的：①見学地の地理・自然・文化に触れ、知識を深める。

②環境の異なる場所を通して健康安全への関心を高め、望ましい体験をする。

③級友や教師と寝食を共にすることにより楽しい思い出づくりをする。

今年度は、高等部2・3年生4名、予定通り2泊3日の旅行を楽しむことができました。

1日目、飛行機搭乗の遅れもありましたが、期待いっぱいの旅行のスタートをきることができました。2日目は、モノレールでの遊戯施設(パーク)への移動、パーク内でキャラクタースタッフに会って写真を撮ったり、アトラクションに参加することができました。人混みの多さにびっくりする生徒、終始ニコニコ笑顔いっぱいの生徒、様々な表情を見せてくれました。

1～3日目の間、移動や食事、就寝、観光など友達や先生と過ごした時間は学校生活のいい思い出になったことでしょう。また、生徒のケアに協力していただいた保護者の皆さんの御協力もあって、沖縄に戻ってくるまで健康で旅行の全日程をこなすことができました。あらためて感謝申し上げます。



【 小・中学部 交流会 】 10月4日(金)

交流及び共同学習は、「障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指すために取り組まれている学習」の一つです。内容は、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面があります。



本年度小中学部では、昨年までオンラインだった寄宮中学校との対面交流会を実施することができました。寄宮中学校より、校長先生、担任2名、生徒5名が来校し、自己紹介、寄宮中学校の生徒のダンス、じゃんけん列車ゲームで有意義な時間を過ごすことができました。じゃんけん列車ゲームでは、それぞれの参加しやすいスタイルで、じゃんけんカードを使ったり、iPadのアプリを使ったりして、ゲームの勝敗を楽しみました。さよならの時間は名残惜しそうにする生徒の表情が印象的でした。

また、来年を楽しみ待ちましょね。



【 合同地震・津波避難訓練 】 10月22日(火)

南部療育医療センターと合同で地震・津波避難訓練を実施し、沖縄県教育委員会保健体育課指導主事が来校し、その様子を見守っていただき指導助言をいただきました。

今回の訓練は、実際の被災地で起こった出来事を参考に、移動中の余震、ろうか等にガラスが散乱、扉が開かない等、先生と一緒にシェイクアウト訓練(しゃがむ・かくれる・まつ)やどのように行動するかを学習しました。どこで起こるかわからない災害ですので、自然災害や緊急時の対応訓練は、今回の訓練の反省や感想をもとに、次年度以降も現実に即した訓練実施に努めていきます。また、災害時に備えて備蓄飲食の他にも備品等の購入を継続しています。

今年度は、PTA予算より児童生徒一人一人に災害時に頭や体を守ったり、避難後の体温調整ができるようにタオルケットを購入しました。一人一人の避難バックに入れ、保管していますので、学校にお越しの際にご確認下さい。



【 PTA情報 】

九州地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会会誌（第58号）の発行に寄せて、会員のひろばにPTA会員より高等部平良さんが記事を書いて下さいました。ありがとうございます。
お子様への愛情や子育ての考え方など、胸が熱くなる素敵な内容でしたので紹介させていただきます。

※実名の記載については、保護者の承諾済みです

「 最高の笑顔 」

娘の名前は「倅歌(さちか)倅歌^{さちか}」。明るく元気に幸せがいっぱい訪れますように。
という思いで名付けました。2006年7月4日580グラムと、とっても小さく生まれました。
24週0日あまりにも早すぎる出産でした。ある日突然、破水をしてしまい…急いで病院へ
行きました。医師からは「リスクが高すぎます障がいが残ってしまう可能性がある」と告
げられました。突然の事で一瞬「何を言われているのか…」「何の話?」「諦めて」と言わ
れているような気がして、私は「この子の心臓は動いていますか?」と聞きました。医師
は「はい心臓は動いています」私は迷わず「出産して育てます」と返事をしたことを覚えて
います。

沖縄の離島に住んでいる私は、主治医と何度も色々な話をして「万が一何か起きたら医
療の整った沖縄本島にヘリで行くこと」「いつでもすぐ行けるように準備はしておくこと」
毎日落ち着かない日々を過ごしていました。そんな中、主治医は毎日のように娘のそばに
寄り添って声をかけてくれました。保育器の中で懸命に生きようとする娘に、主治医が「さ
っちゃん、いい表情してきたね」と声かけすると、嬉しそうに微笑んでいました。その微
笑みに何度励まされたことでしょうか。娘の微笑む表情は日に日に増えていきました。何度
も危機を乗り越え120日間の入院生活を経て退院。自宅で過ごすようになり音や音楽、テ
レビ、誰かが話す声がすると笑顔を見せて笑い、「さっちゃん」と呼ばれると大喜びで最高
の笑顔を見せてくれました。賑やかな場所が好きなので保育園にも5年間通い、お友達もた
くさんで、毎日のように「さっちゃん遊ぼう」「車いす私が押したい」と声を掛けられ喜
び笑顔。特別支援学校入学、保育園とは違い少人数に心配しましたが先生方やお友達に恵
まれ毎日大笑いです。

高校2年生の1学期までは離島で楽しんでいましたが、2学期より那覇特別支援学校に転
校して来ました。転校当時は、残り少ない学校生活楽しめるかな?って心配しましたが心
配ご無用。毎日大笑い、とっても楽しそうにいつの時も笑い声で居場所が分かるくらいで
す。笑い過ぎて車椅子が揺れてしまう事も多々あります。

「脳性麻痺、未熟児網膜症、てんかん」それでも娘は、笑顔を絶やさず毎日大笑いする、
何事も笑いに変えて周りを笑顔にしてくれます。毎日、明るく元気に幸せいっぱい楽しん
でます。この先も笑顔で幸せでありますように。

♡♡♡最高の笑顔いつもありがとう♡♡♡



行事予定

- 1日(金) 那覇特祭りハーサル、お便り日
- 3日(日) 文化の日(公休日)
- 4日(月) 振替休日
- 6日(木) 月曜日課
- 7日(木) 沖縄P研修会(オンライン)
- 10日(日) 第22回那覇特祭
- 11日(月) 振替休業
- 12日(火) 小中高等部県内修学旅行事前検診
- 15日(金) 産業教育フェア-高校生美ら産フェア
(~16日) 沖縄県総合運動公園体育館(沖縄市)
- 18日(月) 介護等体験(~19日)
- 20日(水) 県立看護大学生学校訪問
- 21日(木) 与儀小交流会(小中)、 沖特P協議会
- 23日(土) PTA作業・茶話会

~協力願い~

- 1 モバイルバッテリー等の取扱い
機材等に関する点検、充電等を
各家庭やセンターでお願いしま
す。安全対策への御協力お願い
します。
- 2 インフルエンザ等の感染症の予
防(手洗い・マスク着用等)と
罹患した場合の対応は、引き続
き行っていきます。健康管理連
携して対応していきましょう。
- 3 PTA活動・作業への協力よろし
くお願いします。